



発行所 株式会社盛岡タイムス社 <http://morioka-times.com>
 〒020-0015 盛岡市本町通3丁目9番33号 盛岡タイムス 検索
 電話(代表)019-653-3111 ファクス019-622-5119
 購読料: 月決め 2,262円 1部売り 110円 (税込)

きょう 盛附が近江戦へ意気込み……5面
 の紙面 さくら吹奏楽団がサマコン…6面

SDGs発信へシヨールーム開設

川上塗装工業 多様なイベント企画 古布集めウエス製作も



川上塗装工業の社屋にオープンした「サステナブルスタジオモリオカ『ソノツキ』」

盛岡市三ツ割の川上塗装工業(川上秀郎社長)は、SDGs(持続可能な開発目標)を発信する多機能スペースを兼ねたシヨールーム「サステナブルスタジオモリオカ『ソノツキ』」をオープンした。7月から本格的にスタートした、SDGsについて学ぶイベントも好評で、川上専務取締役(38)は「ここで得たものを生活の中に落とし込んで、次のアクションにつなげられる場所になれば」と可能性を探る。

同スタジオは社屋3階にあり、業務に使用している会議室、レンタルしていなかったフロアを兼ね、3時間を改装。メインルーム3千円(メインルーム28平方メートル)、DIYの場合で貸し出しもスペース(25平方メートル)がある。目指すのは、「学ぶ場」があり、同社が発信する「わかち合」の場。多機能性塗料「ガイナ」を内装に施した。衣食住やスポーツ、経営など各分野で活動



市民から寄せられた古布は仕分けし、福祉作業所に裁断を依頼。今後は1枚500円(写真手前)で販売していく

する20人が、同社と連携し「SDGsアンバサダー」として、それぞれの切り口でイベントを企画・実施。月3〜5回のイベントが予定されており、余った野菜でのスムージー作りやスーパの商品からSDGsの視点を探るイベントなど、SDGsの17目標を分かりやすく伝える。川上専務は「ここで見たら聞いたりしたことを家に持ち帰って話題にした。きょう、あすからの行動を変えていくきっかけになれば」と期待する。同社は2005年創業。企業理念の「暮らし向きが同じ。省エネ雇用創出につなげよう。効果が期待される塗料という取り組みで、各社に寄り添う準備を積極的に扱う」とも、SDGsを知って、ちらしの中で綿Tシャツ、SDGsを知って、ちらしの中で綿Tシャツ、同活動が始めるきっかけの一つに、児童労働にもつながっている。今年3月からスタートしたのが、家庭で不要になった古布を回収して福祉作業所に裁断を依頼し、作業用ウエス(布)として使用する「リンクアップウエス」活動。資源循環と障害者の

今年3月からスタートしたのが、家庭で不要になった古布を回収して福祉作業所に裁断を依頼し、作業用ウエス(布)として使用する「リンクアップウエス」活動。資源循環と障害者の

決りに取り組んでいる団体の準備を進める。同活動が始めるきっかけの一つに、児童労働にもつながっている。今年3月からスタートしたのが、家庭で不要になった古布を回収して福祉作業所に裁断を依頼し、作業用ウエス(布)として使用する「リンクアップウエス」活動。資源循環と障害者の